



# I 当期の業績

## (1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度	
		第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	第3四半期 H20.1.1~ H20.3.31	第4四半期 H20.4.1~ H20.6.30		当年度 累計 H19.7.1~ H20.6.30	累計 H18.7.1~ H19.6.30
I 営業収益	売上高	95,298	168,300	113,732	127,896	116,916	526,845	+30.1%	405,094
II 営業費用	売上原価	89,616	99,529	108,390	110,989	126,184	445,093	+36.9%	325,005
	(注1)販売費及び一般管理費	15,866	15,799	14,633	14,854	18,859	64,147	+11.9%	57,317
	営業利益または営業損失(▲)	▲10,184	52,971	▲9,291	2,051	▲28,126	17,604	▲22.7%	22,771
III 営業外収益		33	14	55	22	98	190	+3.8%	183
IV 営業外費用		446	441	437	843	755	2,478	+28.6%	1,927
	経常利益または経常損失(▲)	▲10,597	52,544	▲9,674	1,229	▲28,783	15,316	▲27.2%	21,027
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲10,597	52,544	▲9,674	1,229	▲28,783	15,316	▲27.2%	21,027
	法人税、住民税	944	884	984	1,284	1,585	4,737	+51.1%	3,136
	四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲11,541	51,660	▲10,658	▲54	▲30,368	10,579	▲40.9%	17,890
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲1,848 円	8,272 円	▲1,707 円	▲9 円	▲4,863 円	1,694 円	▲1,171 円	2,865 円
	(注1)潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益	—	7,303 円	—	—	—	1,501 円	▲1,029 円	2,530 円

(注1) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

## (2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	
		第4四半期末 H19.6.30	第1四半期末 H19.9.30	第2四半期末 H19.12.31	第3四半期末 H20.3.31	第4四半期末 H20.6.30	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	18,780	52,461	85,692	62,141	43,989
		その他	15,606	22,666	30,603	39,136	26,115
		流動資産合計	34,386	75,128	116,296	101,278	70,105
	II 固定資産	有形固定資産	274,491	281,909	283,576	288,199	302,520
		無形固定資産	2,296	2,161	2,026	2,088	3,532
		投資その他の資産	77,537	80,864	82,380	94,391	93,653
	固定資産合計	354,326	364,936	367,984	384,679	399,706	
	資産合計	388,713	440,064	484,280	485,957	469,811	
(負債の部)	I 流動負債	39,446	43,414	30,757	41,048	71,307	
	II 固定負債	75,171	70,894	138,425	129,865	113,829	
	負債合計	114,617	114,308	169,182	170,913	185,136	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	331,000	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲126,319	▲74,659	▲85,318	▲85,372	▲115,740
		株主資本合計	273,596	325,256	314,597	314,543	284,175
	II 新株予約権	新株引受権	500	500	500	500	500
		純資産合計	274,096	325,756	315,097	315,043	284,675
	負債・純資産合計	388,713	440,064	484,280	485,957	469,811	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	43,810 円	52,083 円	50,376 円	50,367 円	45,504 円	

**(3) 株主資本等変動計算書** (平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
平成 19 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲126,319	273,596	500	274,096
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+51,660	+51,660		
第 1 四半期中の変動額の合計			+51,660	+51,660		+51,660
平成 19 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	▲74,659	325,256	500	325,756
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			▲10,658	▲10,658		
第 2 四半期中の変動額の合計			▲10,658	▲10,658		▲10,658
平成 19 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	▲85,318	314,597	500	315,097
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益			▲54	▲54		
第 3 四半期中の変動額の合計			▲54	▲54		▲54
平成 20 年 3 月 31 日残高	331,000	68,916	▲85,372	314,543	500	315,043
第 4 四半期中の変動額 四半期純利益			▲30,368	▲30,368		
第 4 四半期中の変動額の合計			▲30,368	▲30,368		▲30,368
平成 20 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲115,740	284,175	500	284,675

**(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項**

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

**(5) 重要な会計方針**

## 1. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年

## (会計方針の変更)

当事業年度より、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得の有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する方法により、減価償却費を計上しております。これによる損益に与える影響は軽微です。

## (2) 無形固定資産

定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。

## (3) 長期前払費用

定額法を採用しています。

## 2. リース取引の処理方法

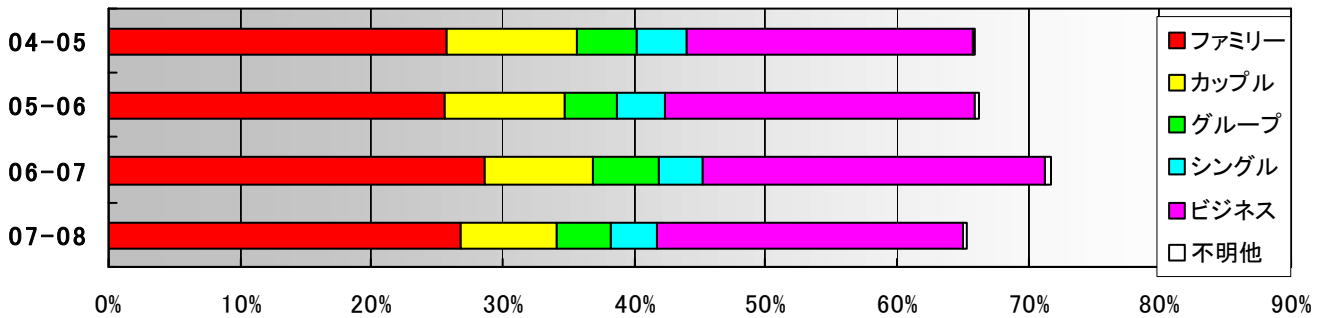
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

## 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

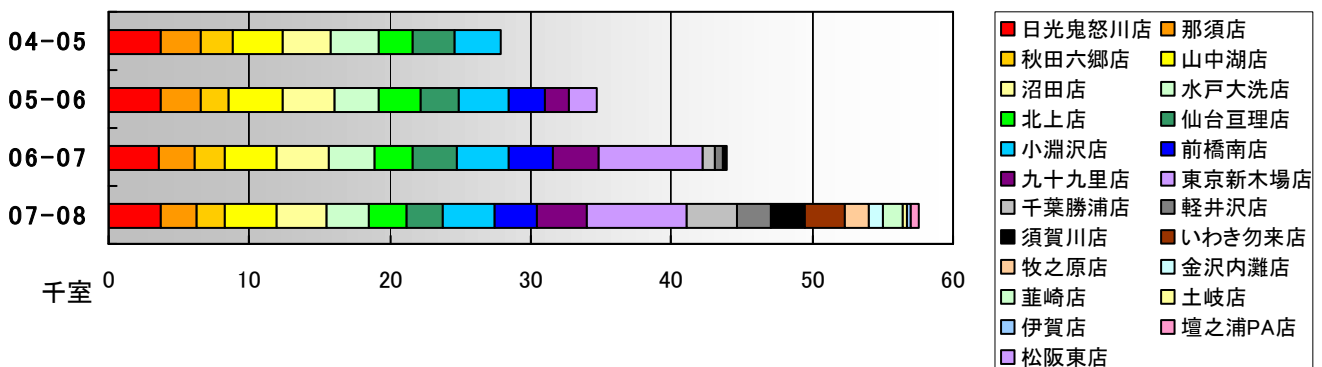
## Ⅱ 第14期（平成19年7月1日～平成20年6月30日）の業績の概況

客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年6月30日)



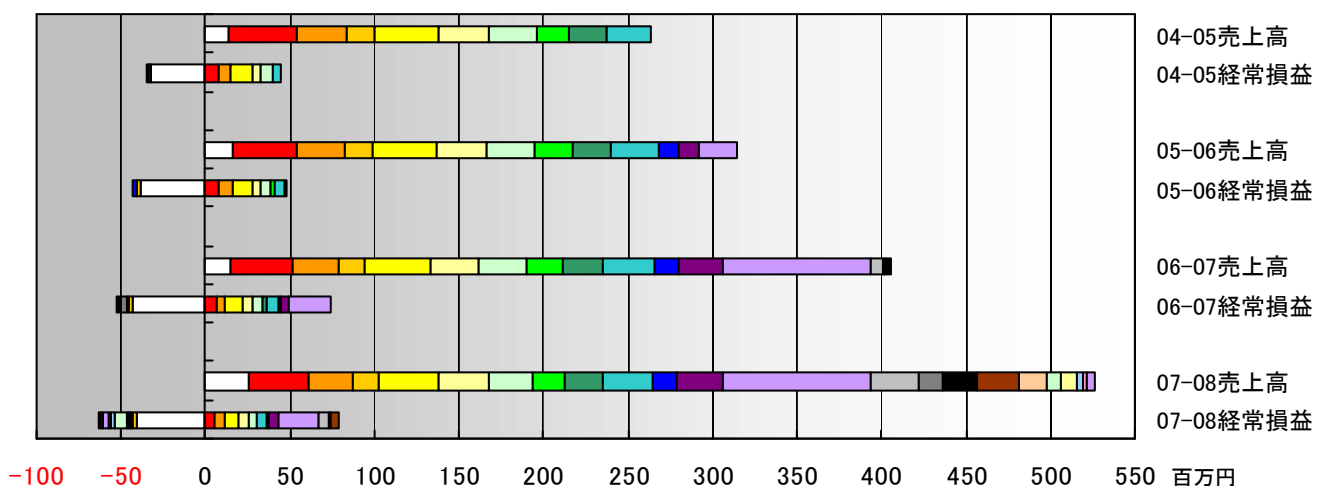
- ・前期に比べ7ポイント減少(69.8→62.8%)しました。オープン1年未満の8店舗(45.0%)を除く既存の15店舗では67.2%であり、新規出店の急増が大きく影響しています。
- ・利用者構成は、前期とほぼ同じでした。

利用客室数(全店合計、店舗別内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年6月30日)



- ・既存店では仙台亙理店と水戸大洗店の減少が大きく、逆に日光鬼怒川店と九十九里店が増増傾向です。

売上高・経常損益(全社合計、部門別内訳)の推移 (平成19年7月1日～平成20年6月30日)



- ・新店の増加にともなう企画調整費が倍増したため、**本社**の売上高は大幅に増加しました(+72.8%)が、オープン2年以上の既存12店舗の売上高は減少(▲2.7%)しました。
- ・経常利益は、**秋田六郷店**の赤字拡大、**仙台亙理店**の赤字転落、および**金沢内灘店**を含む新規オープン店の赤字が大きく、前期を下回り(▲27.2%)ました。

**部門別内訳**

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第1四半期 H19.7.1~ H19.9.30	第2四半期 H19.10.1~ H19.12.31	第3四半期 H20.1.1~ H20.3.31	第4四半期 H20.4.1~ H20.6.30	当年度 累計 H19.7.1~ H20.6.30		累計 H18.7.1~ H19.6.30
本社	売上高 経常損益	3,356 ▲12,802	5,708 ▲10,306	3,052 ▲11,921	15,829 485	524 ▲18,798	25,115 ▲40,542	+72.8% -	14,537 ▲43,688
日光鬼怒川店	売上高 経常損益	7,458 363	13,121 5,040	8,481 735	7,738 751	6,401 ▲673	35,743 5,853	▲2.5% ▲12.8%	36,648 6,713
	客室稼働率	47.4%	59.8%	56.1%	42.0%	43.6%	53.5%	+2.7p	50.8%
那須店	売上高 経常損益	5,948 ▲357	10,273 4,413	5,504 370	5,422 280	5,546 339	26,747 5,403	▲3.9% +11.6%	27,832 4,841
	客室稼働率	60.3%	73.1%	55.8%	51.8%	54.6%	58.9%	▲1.8p	60.7%
秋田六郷店	売上高 経常損益	3,495 ▲686	5,857 1,419	3,828 ▲793	2,259 ▲1,941	2,859 ▲1,745	14,804 ▲3,060	▲3.4% -	15,324 ▲1,896
	客室稼働率	42.6%	56.1%	52.9%	29.9%	34.2%	43.3%	▲3.1p	46.4%
山中湖店	売上高 経常損益	7,561 1,404	13,193 6,204	7,895 1,489	7,202 473	7,128 364	35,419 8,532	▲7.8% ▲16.1%	38,409 10,173
	客室稼働率	67.1%	85.6%	72.7%	66.7%	62.3%	71.9%	▲1.3p	73.2%
沼田店	売上高 経常損益	6,052 304	7,961 2,362	6,974 1,153	8,231 2,071	6,047 358	29,215 5,945	+1.5% +1.9%	28,790 5,837
	客室稼働率	78.4%	81.1%	83.0%	88.2%	79.9%	83.0%	▲1.8p	84.8%
水戸大洗店	売上高 経常損益	5,889 519	9,486 3,723	5,593 ▲165	6,005 522	5,413 ▲52	26,498 4,026	▲8.4% ▲39.0%	28,920 6,603
	客室稼働率	70.2%	74.9%	67.4%	69.7%	60.0%	68.0%	▲7.3p	75.3%
北上店	売上高 経常損益	4,184 ▲1,452	6,974 2,058	4,237 ▲772	3,923 ▲1,322	4,444 ▲920	19,580 ▲957	▲5.5% -	20,730 ▲408
	客室稼働率	50.4%	64.7%	55.5%	51.9%	64.3%	59.1%	▲1.9p	61.0%
仙台亙理店	売上高 経常損益	5,600 36	8,370 2,685	5,370 ▲507	3,850 ▲1,390	4,132 ▲1,456	21,723 ▲668	▲11.0% -	24,395 1,852
	客室稼働率	69.8%	74.0%	68.2%	47.6%	47.1%	59.3%	▲11.8p	71.1%
小淵沢店	売上高 経常損益	6,584 1,045	10,262 4,366	6,351 113	6,536 445	6,678 891	29,828 5,817	▲0.4% ▲15.1%	29,957 6,852
	客室稼働率	84.5%	89.3%	77.6%	82.4%	83.8%	83.3%	▲2.2p	85.5%
前橋南店	売上高(運営受託料) 経常損益	3,345 112	4,688 1,815	2,986 ▲320	3,769 225	3,274 ▲292	14,718 1,429	+5.7% +23.0%	13,920 1,162
	客室稼働率	71.9%	72.0%	63.3%	74.5%	66.8%	69.1%	+0.4p	68.7%
九十九里店	売上高 経常損益	5,782 714	9,209 3,819	6,096 548	6,235 953	5,437 341	26,979 5,663	+2.8% +0.4%	26,238 5,638
	客室稼働率	76.7%	82.3%	81.7%	81.1%	74.6%	80.0%	+2.3p	77.7%
東京新木場店	売上高 経常損益	19,671 3,579	25,213 9,809	22,757 6,091	20,842 5,503	18,392 2,647	87,206 24,051	▲0.5% ▲1.8%	87,670 24,497
	客室稼働率	83.6%	89.6%	92.3%	84.6%	76.8%	85.9%	▲1.5p	87.4%
千葉勝浦店	売上高 経常損益	5,832 1,332	9,229 3,606	6,182 769	7,244 1,562	6,087 442	28,743 6,380	+300.2% -	7,183 ▲501
	客室稼働率	69.6%	72.8%	77.6%	87.4%	74.5%	78.1%	+7.9p	70.2%
軽井沢店	売上高(運営受託料) 経常損益	1,948 ▲3,354	7,759 4,335	2,667 ▲1,371	1,942 ▲1,190	1,882 ▲1,642	14,252 130	+631.3% -	1,948 ▲4,330
	客室稼働率	52.7%	76.8%	51.0%	41.0%	45.1%	53.6%	+0.9p	52.7%
須賀川店	売上高 経常損益	2,585 ▲637	6,699 2,090	4,455 ▲422	4,134 ▲767	4,393 ▲634	19,682 266	+661.4% -	2,585 ▲1,601
	客室稼働率	36.3%	54.1%	54.4%	47.9%	53.3%	52.4%	+16.1p	36.3%
いわき勿来店	売上高 経常損益	- ▲379	9,366 5,233	5,063 ▲473	5,726 192	5,491 45	25,647 4,996	- -	- ▲379
	客室稼働率	-	67.9%	50.0%	58.9%	58.2%	58.4%	-	-
牧之原店	売上高 経常損益	- ▲339	4,863 1,340	2,752 ▲2,076	3,966 ▲790	4,466 ▲91	16,048 ▲1,616	- -	- ▲339
	客室稼働率	-	46.6%	26.8%	44.4%	55.9%	43.2%	-	-
金沢内灘店	売上高 経常損益	- ▲1,342	61 ▲1,342	2,733 ▲952	2,278 ▲2,540	2,697 ▲2,254	7,771 ▲7,089	- -	- -
	客室稼働率	-	-	31.9%	24.3%	26.6%	27.9%	-	-
韭崎店	売上高 経常損益	- ▲40	- ▲40	745 ▲911	4,091 ▲405	5,277 882	10,113 ▲476	- -	- -
	客室稼働率	-	-	47.9%	52.4%	67.6%	59.2%	-	-
土岐店	経常損益	- ▲90	- ▲90	- ▲173	665 ▲500	2,623 ▲1,369	3,289 ▲2,133	- -	- -
	客室稼働率	-	-	-	34.3%	26.8%	28.1%	-	-
伊賀店	売上高 経常損益	- ▲23	- ▲23	- ▲262	- ▲262	2,615 ▲1,042	2,615 ▲1,327	- -	- -
	客室稼働率	-	-	-	-	29.1%	29.1%	-	-
壇之浦 PA 店	売上高 経常損益	- ▲60	- ▲60	- ▲861	- ▲861	4,838 ▲1,548	4,838 ▲2,471	- -	- -
	客室稼働率	-	-	-	-	55.0%	55.0%	-	-
松阪東店	売上高 経常損益	- ▲63	- ▲63	- ▲63	- ▲63	262 ▲1,320	262 ▲1,383	- -	- -
	客室稼働率	-	-	-	-	17.1%	17.1%	-	-
浜名湖店	経常損益	- ▲59	- ▲59	- ▲59	- ▲59	▲444	▲503	- -	- -

佐野 SA 店	経常損益					▲59	▲469	▲528	—	—
新潟南店	経常損益					▲84	▲338	▲423	—	—
全社合計	売上高 経常損益 客室稼働率	95,298 ▲10,597 65.1%	168,300 52,544 72.8%	113,732 ▲9,674 63.2%	127,896 1,229 60.6%	116,916 ▲28,783 56.5%	526,845 15,316 62.8%	+30.1% ▲27.2% ▲7.0p	405,094 21,027 69.8%	

### Ⅲ 第 15 期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 14 期 通期実績 H19.7.1～ H20.6.30	第 15 期				
		第 1 四半期 予想 H20.7.1～9.30	第 2 四半期 予想 H20.10.1～12.31	第 3 四半期 予想 H21.1.1～3.31	第 4 四半期 予想 H21.4.1～6.30	通期予想 H20.7.1～ H21.6.30
売上高	526,845	220,000	153,000	150,000	149,000	672,000
経常損益	15,316	55,000	▲5,000	▲5,000	▲25,000	20,000
当期純損益	10,579	53,500	▲6,500	▲6,500	▲26,500	14,000

第 4 四半期において既存店の多くが前年同期の実績を下回り、新規店舗の伸び悩みと出店費用が集中したため、通期で経常利益 (20,000→15,316 千円) 当期利益 (15,000→10,579 千円) とともに予想を下回りました。

来期も、新規店舗の業績が軌道に乗るのに一定の期間を要すること、当期と同じ 8 店舗前後の出店を予定しており開業費用の負担が発生すること、店舗増にともなう本社スタッフの拡充などによる費用が増加すること、などの理由によって、売上は大幅に増加するものの利益の大幅増加は見込めないと予想しています。

### Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 13 期 第 4 四半期 H19.4.1～6.30	第 14 期 第 1 四半期 H19.7.1～9.30	第 14 期 第 2 四半期 H19.10.1～12.31	第 14 期 第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期 第 4 四半期 H20.4.1～6.30
現金および預金の増減額	▲30,131	+33,681	+33,231	▲23,551	▲18,152
現金および預金の四半期首残高	48,911	18,780	52,461	85,692	62,141
現金および預金の四半期末残高	18,780	52,461	85,692	62,141	43,989

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第 13 期 第 4 四半期 H19.4.1～6.30	第 14 期 第 1 四半期 H19.7.1～9.30	第 14 期 第 2 四半期 H19.10.1～12.31	第 14 期 第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期 第 4 四半期 H20.4.1～6.30
短期借入金の増減額	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1 年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第 13 期 第 4 四半期 H19.4.1～6.30	第 14 期 第 1 四半期 H19.7.1～9.30	第 14 期 第 2 四半期 H19.10.1～12.31	第 14 期 第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期 第 4 四半期 H20.4.1～6.30
長期借入金の増減額	▲6,991	▲6,717	+44,863	▲8,559	+31,472
長期借入金の四半期首残高	107,270	100,279	93,562	138,425	129,865
長期借入金の四半期末残高	100,279	93,562	138,425	129,865	161,337

借入金の増加は、三井住友銀行からの新規借入れ(40,000千円、6月実行)と約定返済の差額によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第 14 期第 4 四半期末 (平成 20 年 6 月 30 日) 時点 (千円未満は切り捨てて表示)

- 60,276 千円 … 借上直営店における差入れ保証金 (契約満了時返済)
- 26,000 千円 … 「軽井沢店」における建設協力金 (10 年均等償却)
- 3,666 千円 … 借地直営店における借地権利金 (20 年均等償却)
- 2,500 千円 … 長期性預金
- 1,210 千円 … 取引信用金庫などへの出資金

合計 93,653 千円

## V 今後の事業展開と出店計画について

### 「松阪東店」「浜名湖店」「新潟南店」「佐野SA店」がオープン

それぞれ、予定通り6月13日、7月11日、7月18日、7月24日にオープンしました。これにより、新規オープンの店舗数は、今年度（昨年7月～今年6月）が8店舗、暦年では昨年在7店舗、今年はすでに7店舗となっています。



「松阪東店」



「浜名湖店」



「新潟南店」

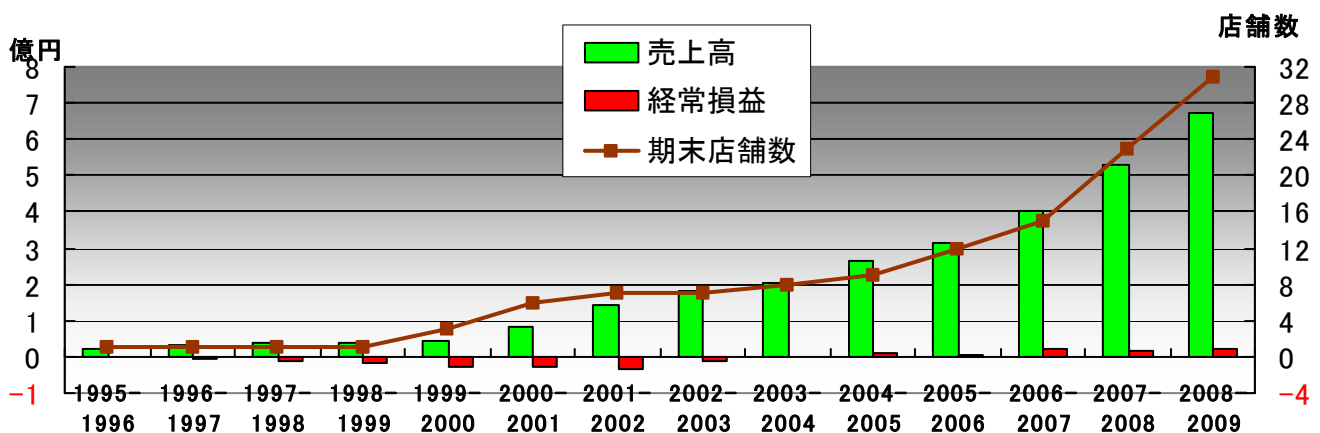


「佐野 SA 店」

### 今後の出店計画

近畿から中国地方を中心に、来期も8店舗前後の出店を計画しています（3店舗は、すでに7月にオープン）。

### 年度別 業績推移（2008-2009は見通し）



### 本社スタッフの増員と社内管理体制の整備

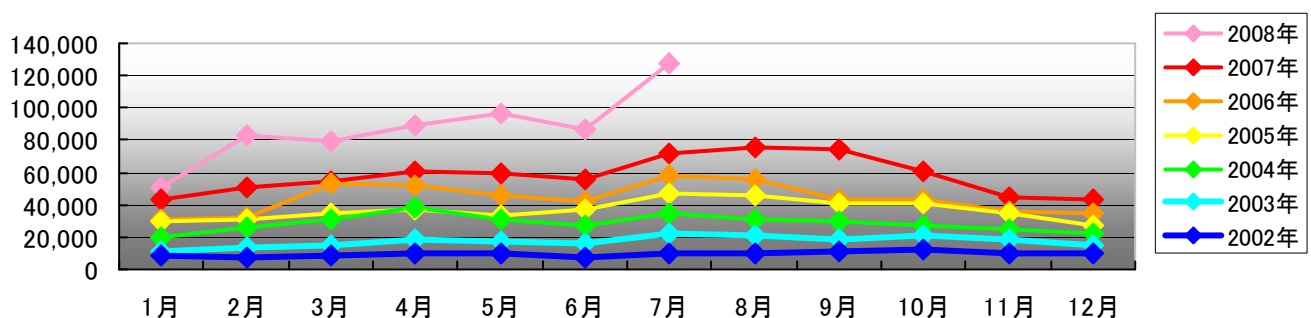
店舗増にともない、本社スタッフを増員（店舗管理部門に正社員2名、総務部門に派遣社員1名）しました。夏から秋にかけては店舗のオープンがないため、懸案となっていたマニュアル整備を含む社内ネットの大幅な再編成と、総務労務管理の一元化および社内諸規定の整備を積極的に進めているところです。

### 広告宣伝、パブリシティ

- ・「高速家族」 ……中日本高速の無料情報誌の裏表紙。隔月刊だが、4月より来年2月まで広告掲載予定。
- ・ニッポン放送 ……9月より3ヶ月、土日1回ずつ「道路交通情報」で20秒CFを流す予定。

なお、「壇之浦PA店」「佐野SA店」のオープンがテレビを含む多くの媒体で紹介されたため、ホームページへのアクセス数は以下のとおり大幅に増えています。

### トップページ アクセス数の推移



以上

会社名 株式会社旅籠屋 上場取引所等 G R  
 コード番号 4 8 0 7 本社所在都道府県 東京都  
 代表者 代表取締役社長 甲斐 真  
 問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真 TEL (03) 3847-8858

1. 平成 20 年 6 月期の業績（平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

（注） 1. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 6 月期	526	(30.1)	17	(△22.7)	15	(△27.2)
19 年 6 月期	405	(28.8)	22	(187.6)	21	(341.4)

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
20 年 6 月期	10 (△40.9)	1,694 00	1,500 99	3.8	3.6	2.9
19 年 6 月期	17 (996.9)	2,864 84	2,529 83	6.8	5.3	5.2

（注） 1. 期中平均株式数 20 年 6 月期 6,245 株 19 年 6 月期 6,245 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭
20 年 6 月期	469	284	60.5	45,504	46
19 年 6 月期	388	274	70.4	43,810	46

（注） 1. 期末発行済株式数 20 年 6 月期 6,245 株 19 年 6 月期 6,245 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 6 月期	40	△76	61	43
19 年 6 月期	40	△38	△36	18

2. 平成 21 年 6 月期の業績予想（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金(円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
通 期	672	20	14	—	—	—	0	0

（参考） 1 株当たり予想当期純利益（通期） 2,241 円 79 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 配当状況

	1 株当たり配当金（千円）						配当金総額(千円)	配当性向(%)	純資産配当率(%)
	第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	その他	年間			
19 年 6 月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
20 年 6 月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
21 年 6 月期(予想)	—	—	—	0	—	0	—	—	—

4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方およびその施策の実施状況

（コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方）

当社は、公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映し株主から信頼される経営を目指しております。

（コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況）

当社の取締役は、平成 20 年 6 月末現在 3 名で構成し、会社法で定められた取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務遂行の状況を逐次監督しております。また、情報開示体制については、監査法人の指導を、随時受けながら、経営情報の迅速な開示を目的として、株主及び投資家に対して決算データ等の情報開示に努めております。

以上